

令和6年度 「自己評価」

【本園の教育目標】

こころのねっこを育てる ～自らやることで学ぶ～

☆ひまわりコンセプトブック・各学年の教育課程を元に、「自ら行うことで学ぶ」直接体験・自然体験を保育の軸に、「げんき・ゆうき・えがお」が溢れる日々の保育を目指す。

【令和6年度 ひまわり重点目標】

1 新しい〇〇を増やす！～自主性を身につけ、主体性を育む～

各学年の交流の機会を増やす

園外保育の回数を増やし、「新しい場所」でどうするかという場面を増やす

毎日同じ部屋だけではなく、環境設定を工夫し、考える場面を増やす

2 目を見て元気なあいさつ・返事（個別に丁寧な対応）

返事が「うん」→「はい」と言えるようにする

普段の関わりが、行事等での自信を持ってやれる姿につながるという意識を持つ

1回でできない子には根気強く丁寧なアプローチで自信を持てるようにしていく

3 保護者・子ども一人一人を理解し、家庭との連携を図る

保護者を子どもと同じ感覚で捉える。

（1回で伝わる家庭もあれば、何度も声掛けが必要な家庭もある）

→同じアプローチではなく、相手の心情・立場に寄り添った関わりを工夫する

4 ひまわり ICT 化計画 [改] ～活用の具体化～

日常の姿の発信の強化

→ルクミーのドキュメンテーションを4月から週2回は実施（毎日でもOK）

ルクミーフォトを活用

ルクミーの機能をチャレンジしてやってみる（使ってみる）→ いい活用法を求める

【令和6年度 自己評価会議】

〈保護者アンケート・重点目標の振り返りを中心に〉

☆園長、副園長、主幹教諭、各チーム担任（正規職員）で実施

日時： 2025-03-22(土) 14:37～17:00

1. 年度の振り返りと来年度の計画

・卒園式と謝恩会の振り返り 卒園式と謝恩会が成功裏に終わったことを振り返り、先生たちのやりがいを感じる日であったと述べた。

・来年度の目標と計画 来年度の目標について話し合い、ひまわりの重点目標としてIT化、ICT化計画、主体性の向上、保護者との連携を挙げた。

・各チームの振り返りと改善点 各チームが今年度の活動を振り返り、良かった点、問題点、改善点について3分間で発表した。

・絵本の活用方法 絵本の活用方法について、各クラスでの絵本の選定と活用を考えるよう提案があった。

結論

- ① 良い卒園式と謝恩会であった。
- ② 絵本の活用を積極的に考えることが提案された。

2. 幼児と乳児の交流と保育環境の改善

・ちゅうりっぷ（2歳児）の受け入れ準備 受け入れ（年少への進級）に向けて、家庭での準備や幼児の環境整備が進んでいる。子供たちは新しい給食セットに喜んでいる。

・くまチーム（年中）の活動 相談して決める場ができ、時間が短縮されてきた。
園外保育が天候の影響で中止が多かった。

・乳児チームのKPT 今年度は幼児との交流が増え、合同保育ができた。夕方の保育環境の改善が必要。

・目を見て元気な挨拶 元気な挨拶と返事をするのがテーマ。去年から継続課題。

結論

- ① 9人（2歳児）が新しい環境で生活しており、良い結果が出ている。
- ② 園外保育の機会を増やす必要がある。
- ③ 新年度からの環境改善が必要。
- ④ 自信を持って挨拶できるようにする。

3. 返事と挨拶の徹底

・返事の徹底 返事をしっかりすることの重要性について議論。特に、名前を呼ばれた際の返事や、物を渡す際の目を見ての挨拶が徹底されていないことが問題として挙げられた。

朝の挨拶と返事 朝の挨拶や返事の習慣について議論。特に、朝の挨拶ができるようになってきたが、時々返事が遅れることがあるという問題が指摘された。

・家庭での返事の習慣 家庭での返事の習慣が欠如していることが、園での返事の徹底に影響を与えている可能性があるという議論された。

結論

- ① 返事を徹底することが必要であると確認された。
- ② 朝の挨拶と返事を徹底することが必要であると確認された。
- ③ 家庭でも返事の習慣をつけることが重要であると確認された。

4. 乳児教育におけるコミュニケーションと保護者との連携

- ・乳児のコミュニケーション 乳児が自分で返事をするのが難しいため、名前を呼んだり、問いかけに対して返事をする場面を意識的に作ることが重要とされた。また、保育士が目を見て話すことや、表情や声のトーンを大切にすることが強調された。

- ・卒園式とアイコンタクト 卒園式でのアイコンタクトの重要性が強調され、全員が目を合わせることができたことが成果として挙げられた。新年度に向けて、アイコンタクトを通じた心のコンタクトを大切にすることが求められた。

- ・保護者との連携 保護者と子供一人一人を理解し、家庭との連携を図ることの重要性が話し合われた。保護者同士の横のつながりが子供同士のトラブル解決に役立つとされた。

結論

- ① 正しい言葉を使い、子供の目を見て関わるのが大事であると確認された。
- ② アイコンタクトを心のコンタクトとして大切にすることが確認された。
- ③ 信頼関係を築くことが大変だが、保護者同士のつながりが重要であると確認された。

5. 保護者とのコミュニケーションと情報共有の強化

- ・保護者とのコミュニケーション 保護者とのコミュニケーションを強化するために、週一回の写真共有を提案。子供と保護者の会話を促進することを目的とする。

- ・乳児チームの連絡帳 乳児チームは毎日保護者と連絡帳を通じて情報を共有しているが、書いてこない保護者もいるため、アプローチが必要。

- ・新入園児の面談 新入園児の保護者との面談を提案。特に担任が変わる場合に重要。

- ・保護者への対応 保護者への対応において、他のクラスの保護者にも配慮が必要。特に迎え入れや送り出しの際に注意。

・ひまわりICT計画 ひまわりICT計画の進捗について。保護者からの反応が良好で、会話のきっかけになっている。

結論

- ① 週一回の写真共有が理想だが、2週間に1回でも良い。
- ② 家庭に合わせたアプローチが必要。
- ③ 面談を行うことが良いと考えられる。
- ④ 他のクラスの保護者にも配慮し、分け隔てなく対応することが重要。
- ⑤ 計画は順調に進んでおり、保護者からの反応も良好。

6. コミュニケーションと情報共有の改善

- ・個別連絡帳のルール メールが担任の名前でいく、ルールを徹底する必要がある。
- ・動画配信と家庭での関わり 動画配信は今年に限らず有効であり、家庭での関わりを促進するために行われた。
- ・日常の活動報告 日常の活動報告が遅れていることが課題であり、改善が必要。
- ・写真の選定 写真の選定が難しく、偏りが生じることがある。
- ・配信の感覚 配信の感覚を改善し、日常の様子をより細かく伝える必要がある。
- ・ICTの利用 iPhone以外のデバイスでの画像送信方法を見つけた。

7. 教育活動の効率化と保護者とのコミュニケーション強化

- ・デジタルツールの活用 iPadやGoProを使用して、写真や動画を効率的に保存・共有する方法について議論。特に身体測定の結果をデジタルで保護者に共有する計画。

・名簿の男女混合化 名簿を男女混合にすることで、性別に関係なく情報を整理する方法を検討。出席簿や身体測定の日付も含めて変更を進める。

・保護者アンケートの結果 保護者アンケートの結果を分析し、改善点や感謝のコメントを確認。特に園児の怪我時の対応や教育活動の透明性についての意見が多かった。

・行事の計画 年間行事の計画について、特に親子フェスタや運動会の日程を確認。行事の実施方法や場所についても議論。

結論

- ① 身体測定結果をデジタルで保護者に共有することを来年度から開始する。
- ② 来年度から名簿を男女混合に切り替える。
- ③ アンケート結果を基に改善点を検討し、次年度の活動に反映させる。
- ④ 5月29日に親子フェスタを実施することを決定。

8. 新しい体制の計画

・新しい体制と取り組み 来年度の新しい体制として、先生たちを3つのチームに分け、行事、ICT関係、保育研究を担当させる計画があります。

・Instagramの活用 入園募集のためにInstagramを開設し、外部への情報発信を強化する計画があります。

・保護者参加イベント 餅つきは12月18日に予定され、クリスマス会は絵本会と合わせて12月15日に開催する予定です。

楽しくなくっちゃ ひまわりじゃない!!

R7 ひまわり 重点目標

1, もっと〇〇を増やす

- 異年齢交流を増やす
- 園外保育にたくさん出る(散歩↑)

2, 心のコンタクトの強化

- 子ども・保護者一人一人との信頼関係↑
- コミュニケーションをしっかりとる

3, 子どもの事をしっかり連携

- 担任同士の情報共有(チームワーク強化)
- 家庭へのアプローチの工夫

4, ICT化計画

- 情報発信↑ 業務の効率↑
- ルクミーの配信回数を増やす